

平成27年度 事業報告書

平成27年12月22日から 平成28年6月30日まで

特定非営利活動法人 震災リゲイン

1 事業の成果

平成27年度はNPO法人にして初めての年度であり、活動に賛同する会員数を増やすことに注力した。当初の予定通りの事業を推進したが、4月に発災した熊本地震を受け、急遽『震災リゲインプレス』内容を変更し、生活再建情報の掲載。並びに通常より部数を増やし、10万部発行。熊本の被災者のみなさんに配布を試み一定の成果を上げた。この紙面は各所で評価され、一般無料配布の他に様々なセミナー、講演会等でも配布された。今後、非常時における『震災リゲインプレス』号外の発行、並びに適切な時期の発行について、協力関係者と調整を進めることとなった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 (千円)
(1) 震災支援及び震災に備えるための各種情報の収集・調査・蓄積・分析・発信のための事業	a) 震災支援及び震災に備えるための各種情報の収集、及び蓄積、発信のためのシステム開発事業	設立の日から継続的に実施。震災リゲインプレス15号紙面で展開。	-	10名	防災、減災、支援活動に興味を持つ不特定多数	0
	b) 映像、及び写真による記録及び同記録の発信事業(リコレクト)	設立の日から平成28年6月30日まで実施。 5月7日、8日、展示とトークイベント等実施。	取材先: 宮城県 展示: 京都府	4名	防災、減災、震災支援活動、震災の記憶の継承に興味を持つ不特定多数。80名	206.1
	c) 被災沿岸部における復興プロジェクト調査提案業務。(平成27年度 みちのく潮風トレイル管理体制構築業務/環境省)	設立の日から平成28年度3月31日まで。	青森県 岩手県 宮城県 福島県	2名	みちのく潮風トレイル利用者	420.6
(2) 被災地域の復興を促進するための中間支援事業	a) 防災・減災・復興に繋がる、要支援者と支援者間のコーディネート事業(手のひらに太陽の家、持続運営のための会員システム構築支援)	設立の日から平成28年度3月31日まで。	宮城県登米市	2名	福島からの保養を希望する家族と運営者	12.5
(3) 防災・減災に関わる情報発信、コーディネーション、講演会や勉強会開催等の、防災・減災知識普及事業	a) 震災専門の一般紙『震災リゲインプレス』の企画・制作・無料配布事業	12月20日号発行: 12/24(14号)3万部 3月20日号発行: 3/18(15号)3万部 6月20日号発行:6/22(16号)10万部	全国	10名	防災、減災、支援活動に興味を持つ不特定多数	1,541.7
	c) 防災・減災の専門講師を招いて、小、中規模のトークイベント、ワークショップを開催	2016年3月7日	東京都渋谷区	2名	防災・減災に興味を持つ親12名	1.6

(2) その他の事業: なし